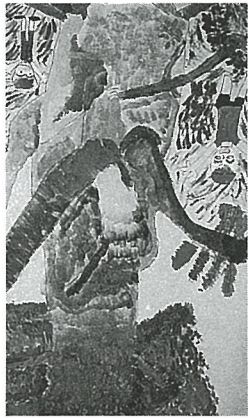




4年 實川寛彰君



『大きな木』

※絵で一番たいへんだったのは下絵です。木を見て、ていねいに書きました。



1年 中岡里香さん



『大きなかぶ』

※葉の色をくふうしてぬりました。きれいなみどり色でぬれました。

あつまれ みんなの力作



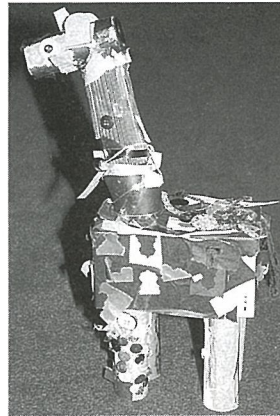
『布を生かして』

5年 高梨寛子さん

※私の家のベットをモデルにしました。丸い目でいつでも勝利できるお守りです。

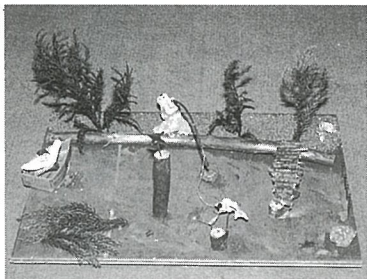


2年 鈴木英之君



『きれいな服をもらって』

※ボタンをつけてかざったり、色紙の色をくふうして作りました。



『つり』

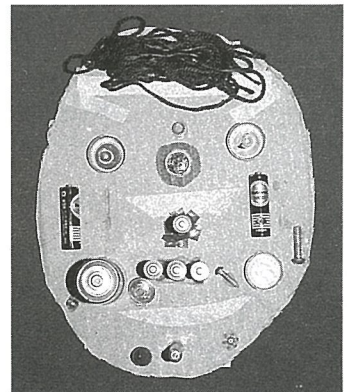


6年 信田 聡君

※人間の色ぬりとさおの曲がりくあいびらずかしかったです。



3年 布施和也君



『ぼくのお面』

※電池がたくさんあつたのでならべていたら、おもしろい顔ができました。

ひむがしの空輝きて初日の出
世界平和をおろがみまつる
評者 竹内 紀葉

冬眠に入る熊等の習性を
ともしむ想ひ予後の身に湧く
長い闘病生活中に安息を願う真情がよく表現されました。
高梨 キヨ (木戸)

緑こき樹々のほさまの山茶花の
紅さえて散り急ぎつつ
山茶花の花の命の果敢なさを詠
まれました。
青柳 フミ (橋場)

とりどりの出店賑わう農業祭
疲れし目路にアドバルーン舞う
賑わう農業祭に疲れ気味の作者
下句にほっとした思いが込められた。
藤代 敏子 (宮内)

信濃路の唐松林落葉して
霧氷輝き冬を装う
霧氷を輝かせつつ厳寒に耐える
樹々の表情に寄せる想いが現れました。
伊藤 定男 (尾垂五区)

